



2020年5月18日(月)

片岡先生・東先生が語る『世界いちやかましい音』の「面白さ」



東先生

このお話の面白いところはなんといっても、世界でいちばんやかましい町であること
を自まんしていた町の人が、最後には世界でいちばん静かで平和だということを自まん
する町へとガラッと変わったことですね。



片岡先生

東先生が言うように確かにそこですね。こういう風に、「はじめ」と「おわり」が全く
逆のような関係を「対比(たいひ)の関係」っていうんです。



東先生

あ、3年生の時に学習した「つり橋わたれ」も、対比の関係ですね。はじめつり橋を
渡ることができなかったトッコが、「さいご」は渡れるようになっていました。



片岡先生

その通りです。4年生で学習した「ごんぎつね」なんかも「対比の関係」になってい
ますね。作品の面白さっていうのは「対比の関係」に注目するとみえてきますね。



片岡先生

この作品の話にもどします。私は世界いちやかましい町のなかでもとりわけ、
ギャオギャオ王子様のそんざいが面白かったです。そもそも、名前がやかましい。

それはおいといて、面白かったのは、ギャオギャオ王子が「世界でいちばんやかましい
音をききたい」と言ったことによって、なんと、その全く真逆の「自然の美しい音や、
静けさと落ち着き」の素晴らしさに気づいたことですね。



東先生

あ、それも「^{たいひ}対^{かんけい}比^の関係[」]じゃないですか。やかましい^{おと}音を^{きく}聞く^{はずが}、静^{しずか}かな音^{おと}の
すばらしさ^{きづいた}に気づいたという、対^{たいひ}比^{です}ね。・・・そう^{かんがえる}考えると、アヒルの鳴^{あひる}き声^{なきごえ}やおま
わりさんの笛^{ふえ}の音^{おと}、とびらを閉^{しめる}める音^{おと}も「はじめ」と「おわり」では「対^{たいひ}比^{かんけい}の関係[」]にな
っていますね。



片岡先生

さすが^{あずま}東^{せんせい}先生[。]では、東^{あずま}先生^{せんせい}に^{ひとつ}一^{しつもん}つ質問^{しても}もいいですか。何^{なん}でこの^{さくひん}作品^だの題^{だいめい}名^は
「世界^{せかい}でいちばんやかましい音^{おと}」という^{だいめい}題^{だいめい}名^{にした}のでしょうか。「世界^{せかい}でいちばん静^{しずか}か
な町^{まち}」という^{さいご}最後^{ことば}の言^{だいめい}言葉^をを^{だいめい}題^{だいめい}名^ににしてもよいと思^{おも}いませ^{せん}んか。



東先生

いや、私^{わたし}はやっぱりこの^{だいめい}題^{だいめい}名^ががいいと思^{おも}います。「世界^{せかい}でいちばんやかましい音^{おと}」と
いう^{だいめい}題^{だいめい}名^と、「世界^{せかい}でいちばん静^{しずか}かな音^{おと}」という^{だいめい}題^{だいめい}名^をを^{くらべて}比べてみると・・・。



片岡先生

おとっと。今^{きょう}日はここ^ままで^にして^おきま^しょう。
作品^{さくひん}の面白^{おもしろ}さ^{をしる}を知る^{には}「対^{たいひ}比^{（たいひ）} がらっ^{かわ}と^{って}変^わわ^{って}いる^{こと}」に^{ちゅうもく}注^{ちゅう}目^{もく}する
と面白^{おもしろ}さ^の説^{せつ}明^{めい}が^しや^すい^いう^お話^でした。今^{いま}ま^だの^{きょう}教^{きょう}科^か書^{しょ}の^{さくひん}作^{さく}品^{ひん}を^よみ^かえ^して
く^ださ^い。た^くさ^ん「対^{たいひ}比[」]が^ある^と思^{おも}い^ます。



では、この^{つづき}続^{つづ}き^がは^{がっこう}学^が校^{こう}で。